

第62回インナー大会  
討論部門  
未成立パート  
テーマ趣意文一覧

番号

## テーマ趣意文

分科会申請にはこちらの番号を使用します。  
お間違えがないようにご記入ください。

大学

ゼミ

パート

部門番号

部門名

テーマ

サブテーマ

趣意文

# 2

## テーマ趣意文

※「テーマ趣意文（例）」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。

部門番号一覧は、インナー大会 HP に掲載されている「**部門番号一覧**」からご確認ください。

中央大学 佐藤拓也ゼミ 佐藤拓也 B パート

部門番号 2

部門名 経済政策論

テーマ MMT について

サブテーマ 日本で MMT は実現できるのか

趣意文

政府支出の増大に反してバブル崩壊後、日本の税収は減少傾向にある。日本の財政赤字は拡大し続け、今日までの新型コロナによる財政出動により一層の拍車がかかっている。そんな中、財源確保の具体的な解決策は見つかっていない。そこで私たちは現在日本で注目され始めている現代貨幣理論（MMT）について研究・検討を行っている。MMT について調べると「国債発行を続ければ日本は債務不履行に陥ってしまう」、「ハイパーインフレーションを招く恐れがある」といったものが挙げられている。しかし、MMT 論者はこれらを真っ向から否定する。私たちのグループでは MMT を批判的に検討し、今後の日本において MMT が実現可能なのか否か、またそれらを踏まえて理想的な政策を考察していく。そのアプローチとして過去のデフォルト、金融危機の事例を鑑みて現状と比較する。また、MMT 導入後の日本の国際金融、国際貿易を推測する。さらに、実際に MMT が採択されたと仮定し、類似の財政活動による結果を踏まえて類推する。

# 4

## テーマ趣意文

※「テーマ趣意文（例）」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。

部門番号一覧は、インナー大会 HP に掲載されている「[部門番号一覧](#)」からご確認ください。

中央大学 芳賀ゼミ A パート

部門番号 13 部門名 社会保障論

テーマ 児童福祉施設における自立支援の現状と問題

サブテーマ 地域社会との接続を目指して

趣意文

現在、児童養護施設入所者は減少の一途を辿っている。一方で、20 歳未満人口も減少している。すなわち、この二つの変数は対応しているため、一概に入所者が減ったとは言いがたい。また、施設を退所してもすぐに退学・離職をしてしまう者も少なからずいる。東京都福祉保健局(2015)『児童養護施設退所者の実態調査結果』を見ると、「退所後困ったこと」として人間関係や金銭管理が挙げられている。こういった問題を低減するために施設では「自立支援」を行なっている。しかし、井上寿美・笹倉千佳弘(2017)『虐待ゼロのまちの地域養護活動ー施設で暮らす子どもの「子育ての社会化」と旧沢内村』によれば、これらの支援は内集団、すなわち施設内での支援が中心となっており、外集団、すなわち施設外での支援について活発には行われていないという。内集団での支援だけでは退所後の社会との接続がスムーズにいかないことが考えられる。このことから、地域社会との接続を目指しながら、外集団の中での自立支援を行うことが重要であるだろう。

さらに、政府は児童らがより成長できるように家庭的擁護を行うべきだとして児童養護施設の小規模化を目指している。しかし、それによって施設の更なる高機能化が求められるだけでなく職員の不足、長時間労働、精神的苦痛など施設職員への負担がさらに大きくなってきている。最近、中学校の部活動を地域社会にアウトソーシングしようという動きが出てきている。これに倣って児童養護の役割を地域社会に与えることは可能か、可能ならばどのようにして可能かということについて論じる。

# 5

## テーマ趣意文

※「テーマ趣意文（例）」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。

部門番号一覧は、インナー大会 HP に掲載されている「[部門番号一覧](#)」からご確認ください。

駒澤大学 中済光昭ゼミ B パート

部門番号 21 部門名 経営情報

テーマ コロナ禍における中小企業経営と IT

サブテーマ 中小企業の IT 導入に対する解決策

趣意文

現在の中小企業は、新型コロナウイルスの流行に起因する原材料費の高騰や業務対応の変更などの問題や、少子高齢化による働き手の減少などの社会問題に直面している。その中で生き残りをかけて懸命にもがき変化や改善を行って対応しているところである。

IT 経営はその対応の一つだ。IT を経営に活用することによって人手不足の解消やデータ収集、更には意思決定に役立てることができるが、中小企業白書の調査によると、人事や経理には高い比率で IT ツールやシステムを導入している反面、業務自動化や経営分析、情報管理等には IT ツールやシステムの導入が遅れていることがわかる。企業単位でも、感染症流行によって中小企業のデジタル化の取組は年々増してはいるが、いまだにデジタル化に対応できていないか移行している企業が約 4 割存在していることも事実である。その理由として IT を導入できる人材がいないことや導入効果が分からないこと、コストを負担できないことなどが挙げられる。

これらの問題を解決するため、本文では IT 導入によるメリット・デメリットを整理しながら中小企業の様々な IT 対応事例を取り上げ、中小企業の IT 導入に対する解決策を論じていきたい。